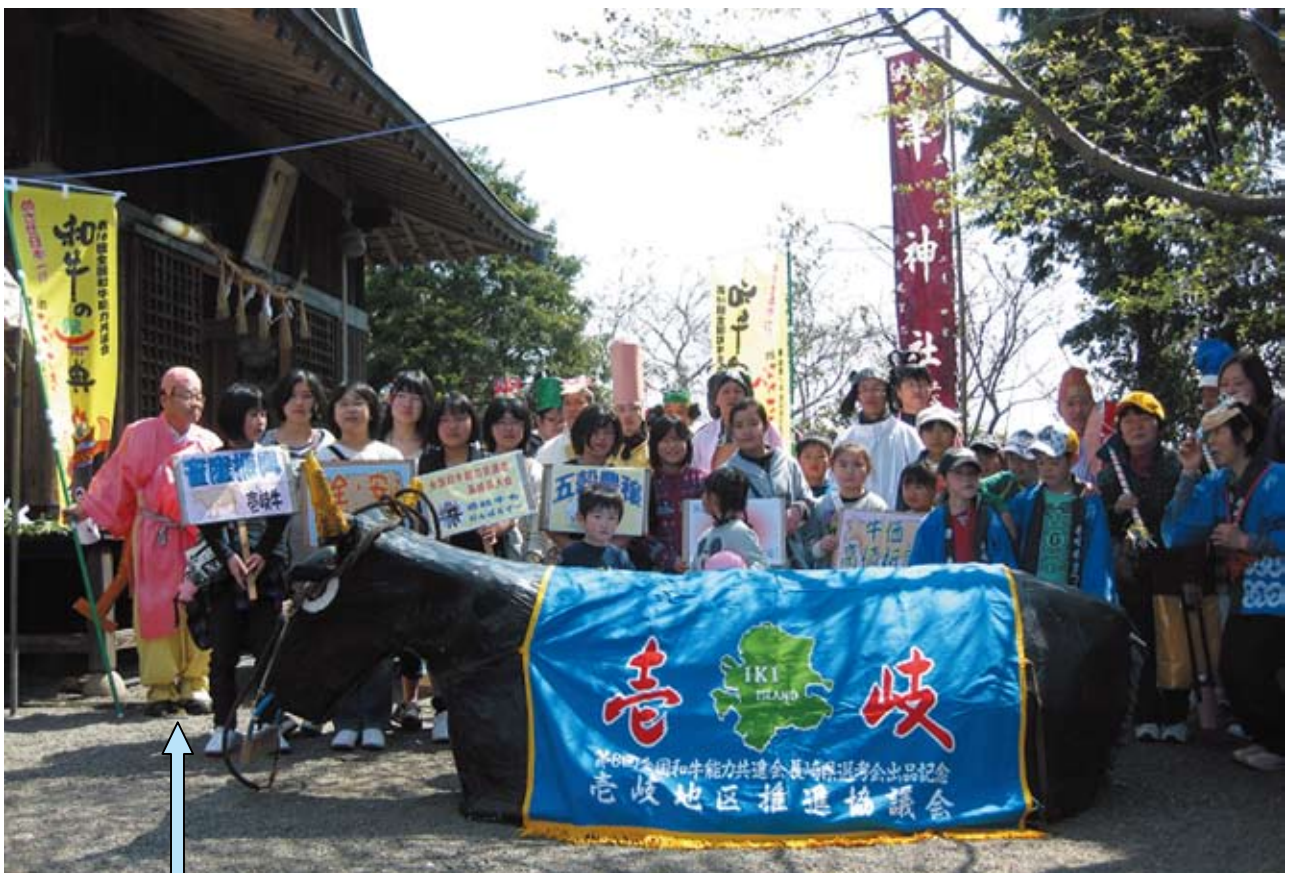


# 家畜衛生情報誌

## 『一支国』

2012. 春号



↑  
所長

2012.4.8 吉岐国牛まつり 津神社にて

吉岐振興局農林水産部 吉岐家畜保健衛生所

〒811-5734 長崎県吉岐市芦辺町国分本村触1385-1 TEL : (0920)45-3031

E-mail : s13230@pref.nagasaki.lg.jp

FAX : (0920)45-3386

～Website～

<http://www.n-nourin.jp/ah/agrilink/hukyuu/iki/kakuka/3iseika.html>

# 新年度 着任の御挨拶

吉岐家畜保健衛生所長 松本 輝久



この度、吉岐家畜保健衛生所長としてお世話になります松本です。私は昭和61年に県職員として採用され、初任地が吉岐でした。『北海の熊さん』と呼ばれ、乳母車を持ってあちこちの集合検査に通った思い出があります。当時は県外からの素牛導入、農協F Lの再開と家畜市場成績向上のため様々な取り組みがなされていました。

あれから25年が経ち、飼う人、飼われる牛共に世代交代が進み、優秀な種雄牛ができ、「吉岐牛」の名前も「吉岐焼酎」と同じく広く知られるようになりました。この間、畜産を取り巻く情勢も大きく変わりました。食品の安全に対する消費者の要求の高まり、経済活動のグローバル化による消費動向の変貌と生産資材価格の高止まり、海外家畜伝染病の国内発生さらに慢性疾病の常態化等、私たちが対応すべき課題は増えるばかりです。特に家畜衛生では口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザの発生により家畜伝染病予防法が改正され、家畜飼養衛生管理基準の徹底、地域防疫体制の推進が求められています。これらに対して家畜保健衛生所がすべきこと、できることを考え、真摯に取り組んでいきたいと思ひます。

10月には全国和牛能力共進会が本県で開催されます。長崎県の和牛振興のため、地域畜産発展のために悔いのないよう、最後まで関係機関が一丸となって頑張りましょう。

## 平成24年 定期報告説明会を終えて

家畜伝染病予防法の改正に伴い、家畜飼養者の県への年1回の定期報告が必要となったため、三島を含む13地区で地区別説明会を開催しました。今回は初回ということで、埋却地の設定や衛生管理区域の見取図の作成等、複雑な内容もありましたが、平成25年以降はできる限り簡便な方法で対応できるように検討していきます。今後とも飼養衛生管理基準の遵守徹底をお願いします。

参考までに平成23年分報告の集計結果は（平成23年10月の状況）、

- 牛飼養者 : 933戸
- 豚飼養者 : 1戸
- 家さん飼養者 : 63戸（うち2戸はきじ）
- 山羊飼養者 : 4戸

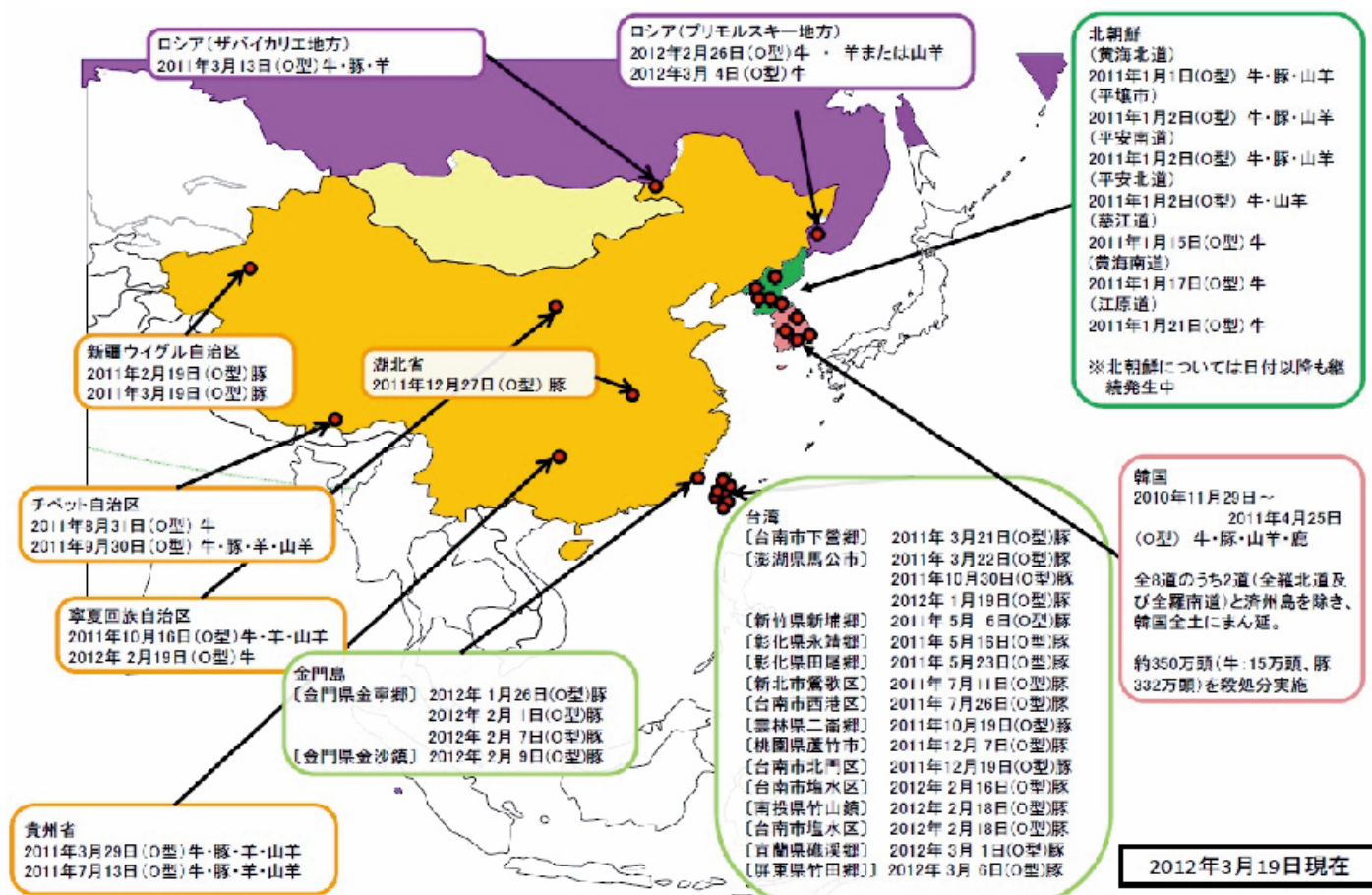
でした。

多数の御参加、  
ありがとうございました！



# 海外の口蹄疫、 鳥インフルエンザ発生状況

中国、香港、台湾、韓国、モンゴル、ロシアにおける口蹄疫の発生状況  
(2011年1月以降の発生)



上の図は、平成23年1月以降口蹄疫が発生した地域をまとめたものです。同年口蹄疫が猛威を振るった韓国においては、ワクチンを全頭接種した平成23年4月以降の発生はみられていません。しかしながら、その後近隣国で断続的に発生があり、平成24年2～3月には中国、ロシア、台湾で報告が相次いでいます。

また、高病原性鳥インフルエンザについても、平成24年3月以降も中国、台湾をはじめ、アジアの7か国で発生がみられています。

このように、近隣国では依然として病原体の動きがみられていますので、口蹄疫発生国からの郵便物を畜舎付近に持ち込まない、海外へ渡航する際は畜産施設や生きた家畜を扱う市場等へ立ち入らない等、警戒を強化してください。外部からの病原体侵入を防止するため、今後も農場や畜舎入口での消毒の徹底をお願いします。

# もとひろ 壱岐の永田宗広さんが西川賞受賞

平成24年2月15日、東京都のヤクルトホールにおいて第40回家畜人工授精優良技術発表全国大会が開催されました。壱岐で人工授精師としてご活躍され、壱岐市家畜人工授精師会長でもある永田宗広さんが、長崎県代表として『表計算ソフトを利用した授精業務と農家へのデータ還元』を発表し、最優秀賞の「西川賞」を受賞されました。壱岐での受賞者は永田さんが初めてであり、県でも2002年以来、3人目の受賞という快挙です。おめでとうございます！



↑ 前列左から3番目が永田さん

## 平成23年 精液利用ベスト10

	種雄牛	所有者	利用本数	シェア(%)	前年
1	平茂晴	長崎県	4,059	38.5	→(1位)
2	百合茂	鹿児島県 徳重	1,023	9.7	↑(4位)
3	安福久	鹿児島県 徳重	916	8.7	↑(5位)
4	安茂晴	長崎県	663	6.3	初
5	勝乃勝	長崎県	623	5.9	↓(3位)
6	糸晴茂	長崎県	450	4.3	初
7	隆之国	鹿児島県 羽子田	328	3.1	↑(33位)
8	北平安	ジェネティクス北海道	311	2.9	↓(2位)
9	北乃大福	ジェネティクス北海道	287	2.7	↑(11位)
10	平忠勝	山形県	276	2.6	↓(6位)

集計期間：平成23年1月1日～12月31日

壱岐地区での総利用本数は10,551本（前年+76）、うち県有牛は6,201本（58.8% 前年+0.5%）でした。

平茂晴の後継牛である安茂晴と糸晴茂が初登場となり、この3頭合計のシェアは49.1%と約半数を占めていました。

# 老岐国牛まつりに行きました！



「平茂晴号」製作者の老岐振興局運転士山内市郎さん↑も産婦人科医に扮して行列に参加→

平成24年4月8日、桜の咲く晴天の日、毎年恒例の『老岐国牛まつり』が開催されました。この行事は江戸時代に牛の伝染病が流行し、疫病退散のため牛神を祀ったことが起源とされています。仮装行列は郷ノ浦町牛方触公民館から津ノ上山頂の津神社まで歩きました。



今年は牛御輿や七福神のほか、山内さん作の『平茂晴号』や全共マスコットのかさべこくんも登場しました。

神社では老岐神楽も奉納され、畜産関係者が集まって老岐牛の活躍や、畜産業の発展が祈念されました。

## 平成23年度 BSE検査成績

平成15年4月以降、全ての満24か月齢以上の死亡牛は、牛海綿状脳症（BSE）の検査が義務付けられています。平成23年4月から平成24年3月末までに、管内で121頭の死亡牛の牛海綿状脳症（BSE）検査を実施しましたが、全頭陰性でした。県全体では1,152頭の検査を行い、全頭陰性でした。

近年、成牛の事故が増えています。今後も飼育管理を徹底し、死亡事故の低減および死亡牛の適正処理に努めてください。

なお、これまで当所から検査結果を死亡牛所有者の方にお送りしてきましたが、今年度から事務の簡素化のため、結果が『陰性』（問題なし）の場合は、検査結果の文書送付を省略したいと思いますので、御理解をお願いいたします。

※検査結果を確認したい方は、家畜保健衛生所までお問い合わせください（45-3031）。



単位：頭

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
H23	10	4	10	13	9	8	11	12	14	12	8	10	121
H22	4	12	10	11	9	14	7	7	8	15	13	8	118
H21	7	4	4	11	7	6	10	8	8	6	6	11	88

# 転入・転出者からひとこと



**衛生班係長 森田 光太郎**  
 杵岐での勤務を楽しみにやってきました。出身は平戸市生月町です。微力ではありますが、杵岐の畜産の発展に貢献できるように頑張りますので、よろしくお願いいたします。  
 追伸：漁業（クロ・石鯛・アジ・メバル・ヒラスズキ・バス）も大好きです！



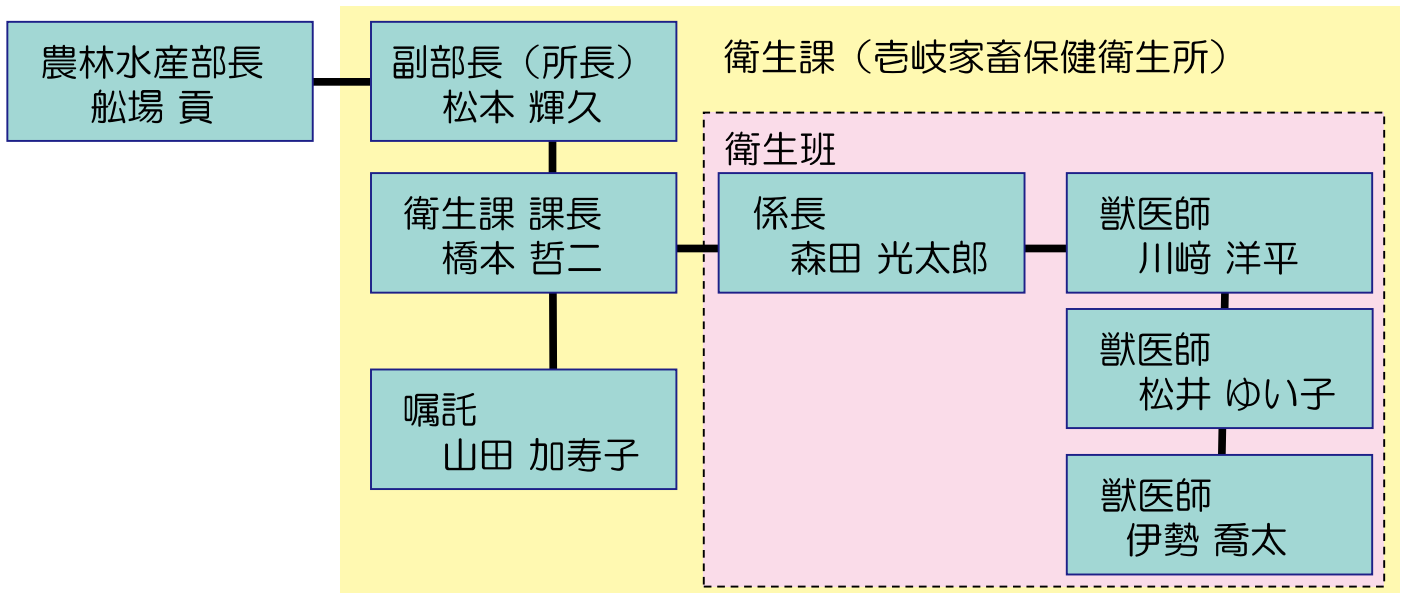
2年間大変お世話になりました。赴任早々の口蹄疫発生で港等での消毒対応に奔走したことが強く思い出されます。長崎全共を前に杵岐を後にするのは心残りですが、関係皆様方のご活躍を期待しております。

山本 和利 → 農林技術開発センターへ  
 山本 賢一 → 県南家畜保健衛生所へ  
 園田 清秋 → 退職



**獣医師 伊勢 喬太**  
 千葉県から来ました。県職員として最初の赴任地がここ杵岐の島でした。関係者方々には多々お世話になる事あると思いますが、杵岐の畜産の御役に立てるよう職務に真摯に努めます。  
 仕事以外では島の豊かな自然を満喫したいと思っています。。。島民の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

## 平成24年度 組織図



### 編集後記

杵岐に赴任してとうとう3度目の春になり、これまで色々な経験をすることができました。その中で畜産農家の皆様をはじめ、関係機関の方々の畜産業にかけられる思いに何度も触れ、業務の大切さや責任の重さを感じてきました。今後は、皆様の気持ちに少しでも応えられるよう、充実した1年を過ごしたいと思います。

それからまだ見ぬ杵岐の良さも沢山残っているので（三島散策、辰ノ島遊覧etc...牛祭り見学はやっと実現！）、できるだけ多く満喫して、次の来島者に魅力をお伝えしたいです♪